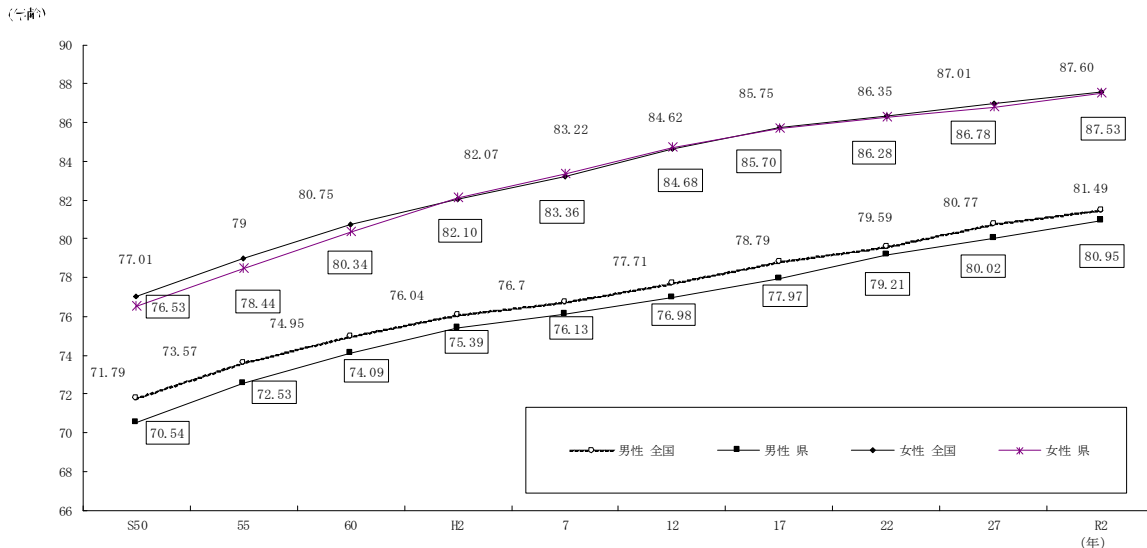


## 8 保健医療福祉の状況

### (1) 平均寿命の推移

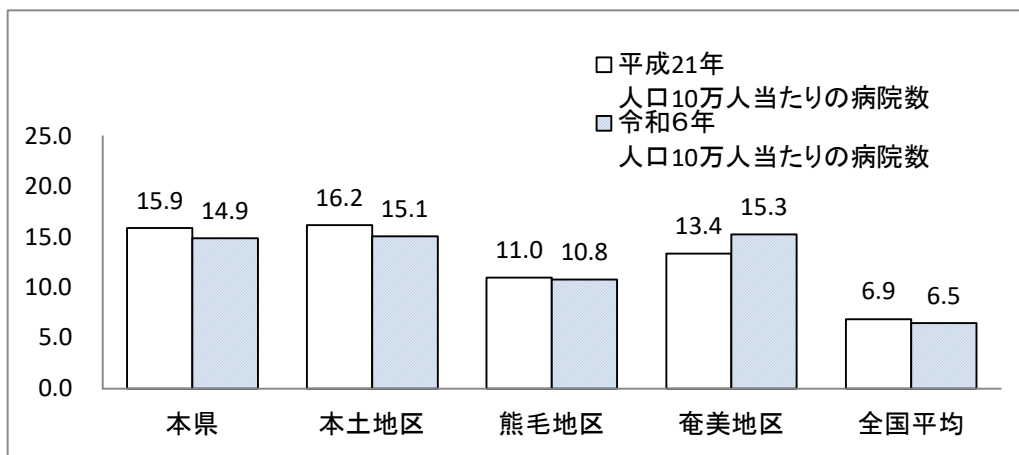
令和2年の本県における平均寿命(0歳児の平均余命)は、男性80.95年、女性87.53年となっており、ここ30年で、男性が5.56年、女性が5.43年伸びている。令和2年で国と比較すると、男性は0.54年、女性は0.07年低くなっている。



資料：厚生労働省「都道府県別生命表」

### (2) 医療機関の数

令和6年の本県の病院数は229で、人口10万人あたりでは14.9であり、全国平均の約2.3倍にあたる。



資料：厚生労働省「医療施設調査」

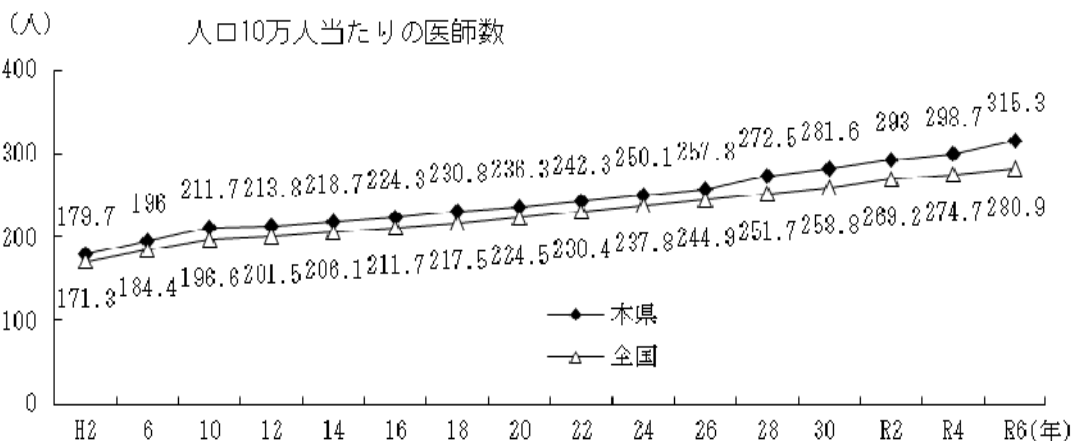
### (3) 医師数の現状

令和6年12月末における本県の従業地による届出医師数は4,831人で、令和4年12月末に比べ163人(3.5%)増加している。

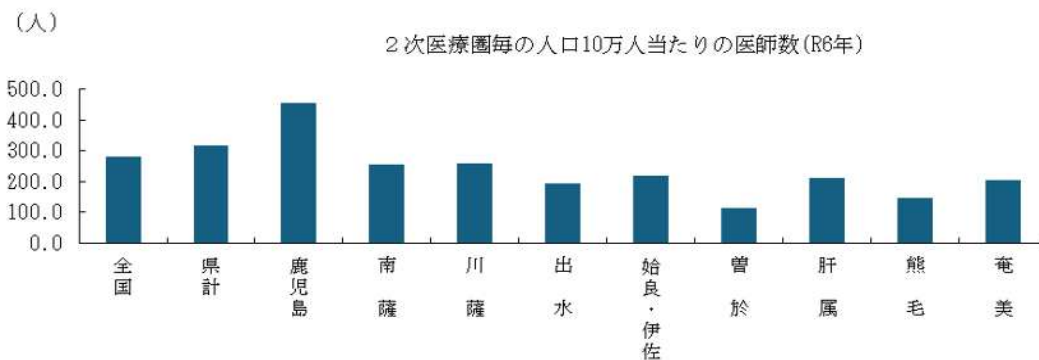
また、本県の人口10万人当たりの医師数は315.3で、全国280.9に対して34.4ポイント高い。

		H10	H12	H14	H16	H18	H20	H22
本県	医師数	3,791	3,818	3,890	3,967	4,023	4,058	4,135
	人口10万人当たりの医師数	211.7	213.8	218.7	224.3	230.8	236.3	242.3
国	医師数	248,611	255,792	262,687	270,371	277,927	286,699	295,049
	人口10万人当たりの医師数	196.6	201.5	206.1	211.7	217.5	224.5	230.4

		H24	H26	H28	H30	R2	R4	R6
本県	医師数	4,227	4,300	4,461	4,545	4,653	4,668	4,831
	人口10万人当たりの医師数	250.1	257.8	272.5	281.6	293.0	298.7	315.3
国	医師数	303,268	311,205	319,480	327,210	339,623	343,275	347,772
	人口10万人当たりの医師数	237.8	244.9	251.7	258.8	269.2	274.7	280.9



資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計（調査）」  
総務省「推計人口」



資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」  
鹿児島県（統計課）「令和6年度報」

(4) 福祉施設の設置状況

(令和6年10月1日現在)

	総数		公営		私営	
	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員
保護施設	1	50	0	—	1	50
老人福祉施設	1,242	15,275	11	315	1231	14,960
障害者支援施設等	126	4,393	0	—	126	4,393
身体障害者社会参加支援施設	4	—	1	—	3	—
婦人保護施設	1	30	0	—	1	30
児童福祉施設等	527	29,136	56	3,096	471	26,040
母子・父子福祉施設	1	—	0	—	1	—
その他の社会福祉施設等	468	11,696	2	—	466	11,696
総数	2,370	60,580	70	3,411	2,300	57,169

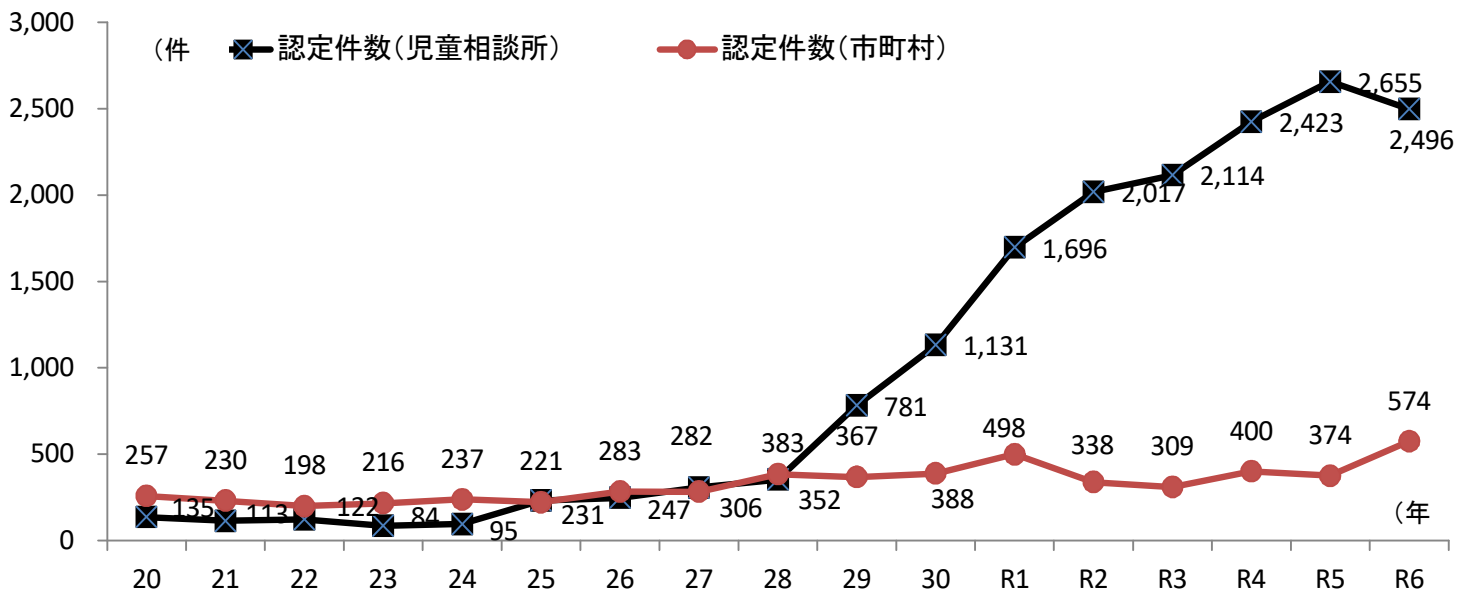
資料：厚生労働省「社会福祉施設等調査」，「介護サービス施設・事業所調査」

- (注) 1 活動中の施設を集計している。  
 2 定員は、定員設定のある施設のみを集計している。

(5) 児童虐待の状況

本県の児童虐待の状況については、平成16年度に児童福祉法が改正され、市町村における児童相談業務が義務化された。

近年においては、児童が同居する家庭における配偶者に対する暴力がある事案、いわゆる面前DVなどを含む心理的虐待の相談対応件数の増加、警察による児童相談所などへの通告の徹底などにより、通告・認定件数が増加しており、令和6年度の児童相談所及び市町村の認定件数は、県全体で過去最多の3,070件となった。(前年度比41件増)



(注) 「虐待件数」は、虐待に関する相談・通告のあったもののうち虐待と認定された件数

資料：中央児童相談所資料